佐世保市スポーツ施設再編計画（案）

令和８年9月

佐世保市

≪目 次≫

Ⅰ.計画の概要ーーーーーーーーーーーーーーーー　２

（1）　背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

（2）　計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

（3）　計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

（4）　佐世保市の人口推計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

Ⅱ.市内スポーツ施設等の基本情報ーーーーーーー　６

（1）　スポーツ施設位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

（2）　スポーツ施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

Ⅲ.スポーツ施設再編の基本的な考え方ーーーーーーーー　９

（1）　スポーツ施設のストック適正化に向けた視点・・・・・・・　９

（2）　スポーツ施設の機能向上を図る視点・・・・・・・・・・・・・　９

Ⅳ．現況評価ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー　１４

（1）　躯体評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７

（2）　経済性評価と需要性評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

（3）　個別施設の再編の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７

（4）　普通財産施設の更新停止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８

（5）　更新停止から廃止（利用停止）の判定基準・・・・・・・・・　２９

Ⅴ．個別施設の再編方針ーーーーーーーーーーーーーーー　３０

（1）　拠点スポーツ施設の方向性について・・・・・・・・・・・・・　３０

（2）　個別施設の再編方針について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

Ⅰ．計画の概要

（１）背景と目的

近年、スポーツの志向は多様化し、地域の活性化を目的としたスポーツイベントや、健康づくりに主眼をおいた運動やダンス、また、新たなスポーツ領域となるアーバンスポーツやｅスポーツの流行など､スポーツは多岐にわたりひろがりを見せ、活用の場も増加しています。**これに伴い、従来の競技スポーツの枠にとどまらない「新たなスポーツニーズへの対応」を施設再編の中に明確に位置付け、市民が日常的に多様なスポーツに親しめる環境を戦略的に整備していくことが求められています。**

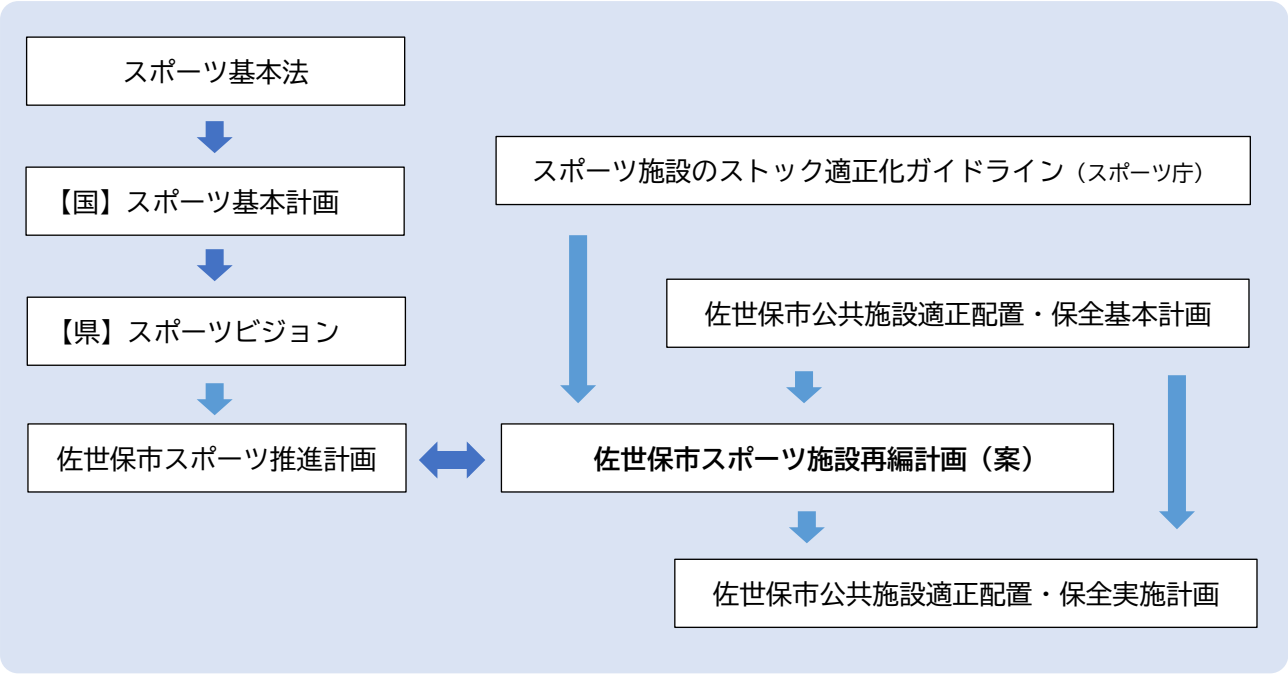
そこで､本市では多様化しているスポーツへの対応やスポーツ施策の方向性を明確にするために、令和４年に「佐世保市スポーツ推進計画」を策定いたしました。計画では、「する」「みる」「ささえる」など、様々な角度でスポーツに親しむ・関わることを通して､スポーツが持つ力を市民の健康増進やまちの活性化に活かしていくこととしており、スポーツ施設の役割としても、これに呼応し、施設を多様な活用に供することが必要となります。

スポーツ基本法においても、「その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。」と計画策定を推奨しており、加えて、スポーツ施設の整備については、「スポーツ施設の整備、利用者の需要に応じたスポーツ施設の運用の改善など、必要な施策を講ずるよう努めなければならない」と規定されています。

一方、本市のスポーツ施設は、昭和４０年から５０年代に建設したものが多く老朽化が進んでおり、将来見込まれる人口減少、少子高齢化やスポーツ施設の維持管理費の増、税収入や利用者需要の減少も含め、既存のスポーツ施設を従前のとおり将来にわたり維持管理していくことは困難であり、施設の効率的・効果的な運営や施設の適正配置が求められます。

そこで、スポーツが持つ力を最大限発揮させるとともに、社会情勢や都市規模に応じて、市民にとって充足したスポーツ環境を持続的に提供するため、本市において計画的にスポーツ施設を再整備することを目指す、「佐世保市スポーツ施設再編計画（以下「本計画」という。）」を策定いたします。

（２）計画の位置付け



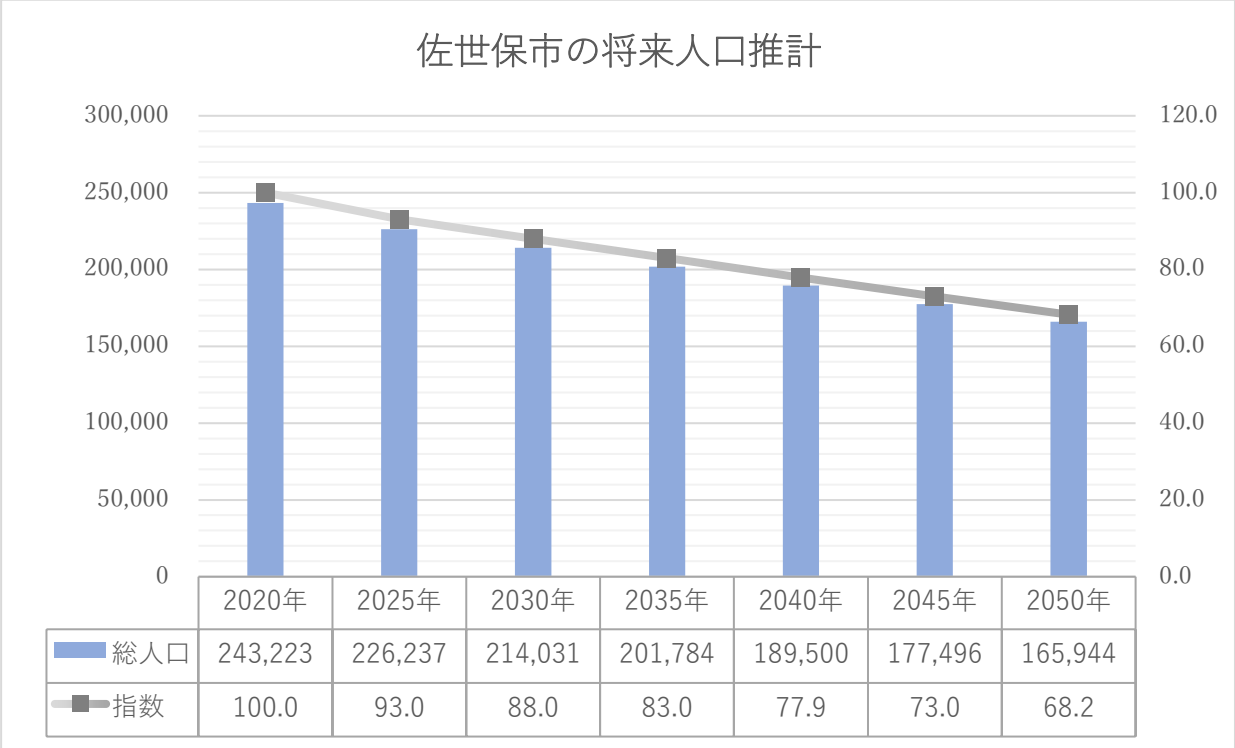
（３）計画期間

公共施設のライフサイクルコストと将来の人口構造の変化に柔軟に対応するため、20 年先を見据えた長期的視点に立ちつつも、社会情勢の変化や技術革新のスピードを考慮し、10 年を一つの区切りとして計画の見直しを図ることとします。

- 本計画は、20 年後のスポーツ施設利用を見据えた考え方を基本とします。
- 策定から 10 年後を目途に見直しを行いますが、社会情勢や財政状況に大きな変化が生じた際は、時期を問わず必要に応じて見直しを検討します。

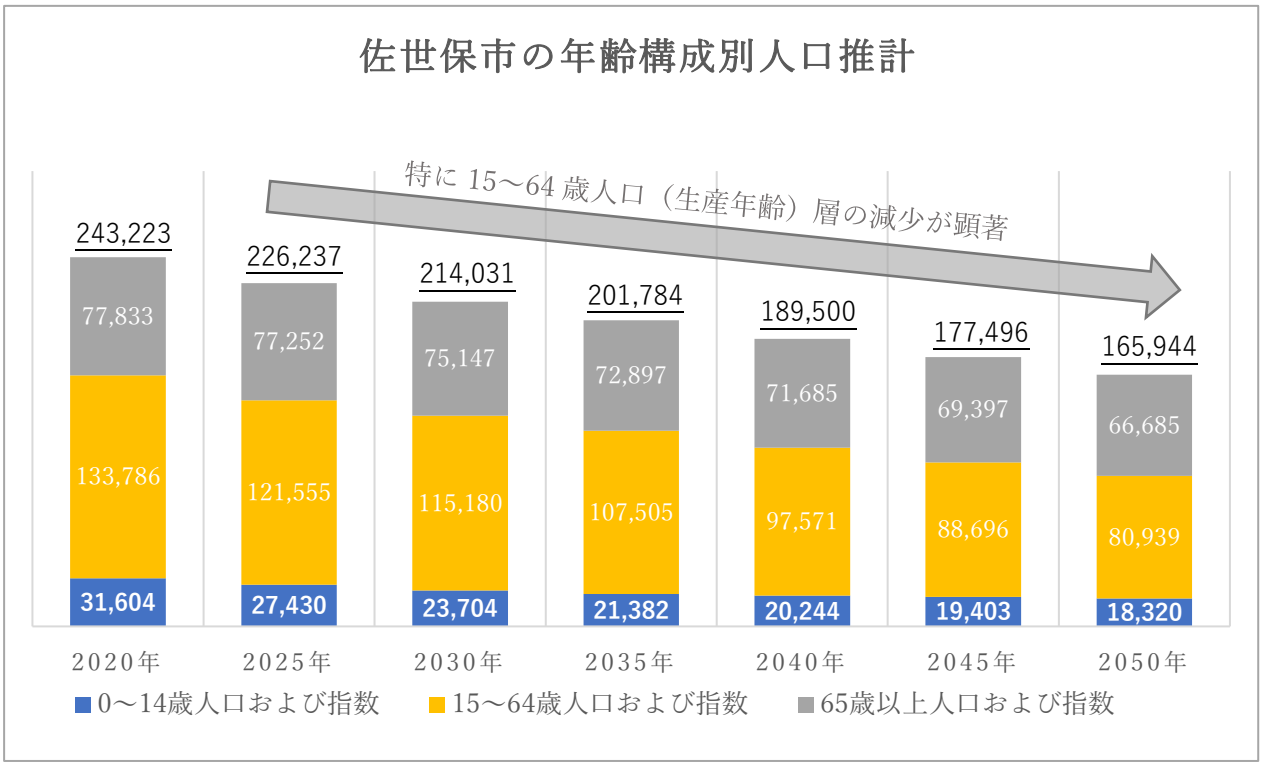
（４）佐世保市の人口推計

国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口』（2023年推計）」によると、本市の人口は、2025（令和 7）年から 2045（令和 27）年までの 20 年間において、48,741 人（21.5%）が減少し、約 177,496 人余りになると見込まれ、減少傾向にあります。



	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総人口	243,223	226,237	214,031	201,784	189,500	177,496	165,944
指数	100.0	93.0	88.0	83.0	77.9	73.0	68.2

また、同研究所が合わせて公表した「年齢区分別の人口推移」をみると、年少人口割合と生産年齢人口割合がともに減少する中で、老年人口は微減し、2045（令和27）年には、人口に占める老年人口は39.0%となり、超高齢社会（21%以上）と言える状況となります。



これら統計に基づくと今後は、生産年齢人口の減少により税収減が見込まれ、スポーツ施設の維持管理に充てられる費用も自ずと減少することが想定されることから、人口規模を考慮した適切なスポーツ施設数を維持管理していくことが求められます。

また、年齢構成では年少人口や生産年齢人口の割合が低下する一方で、高齢者人口の割合が上昇し、今後もその傾向が一層顕著となることが予測されています。そのため、このような人口構成の大きな変換とともに、多種・多様化する市民ニーズに対応した適正なスポーツ施設の規模や配置を検討していく必要があります。

II. 市内スポーツ施設等の基本情報

（1）スポーツ施設位置図

佐世保市には、文化スポーツ部が管理等を行うスポーツ施設は５４施設があり、このほか、公園施設や各地域　体育室などの施設があります。

施設位置は下図のとおりです。

（2）スポーツ施設一覧

No.	種別	管理形態	施設名		所在地等	竣工年	施設内容
1	グラウンド	指定管理	総合グラウンドアーチェリー競技場		椎木町	昭和56年	フィールド面積 2,640.15㎡ 的場 14的（夜間照明有）
2		指定管理	北部ふれあいスポーツ広場（多目的広場）		原分町	平成9年	面積 14,753㎡ ソフトボール2面、サッカー１面（夜間照明有）
3		指定管理	総合グラウンド運動広場		椎木町	昭和54年	面積 8,332㎡ サッカー1面、ソフトボール2面（夜間照明有）
4		直営	世知原運動広場		世知原町 栗迎	昭和53年	面積 8,741㎡ ソフトボール1面（夜間照明有）
5		直営	吉井北部運動広場		吉井町直谷	平成2年	面積 14,300㎡ サッカー1面、ソフトボール2面
6		直営	栗迎農村公園運動広場		世知原町 栗迎	平成14年	面積 11,610㎡ サッカー1面、ソフトボール1面（夜間照明有）
7		指定管理	小佐々中央運動広場（多目的広場）		小佐々町 西川内	平成7年	面積 26,522.75㎡ 野球1面、サッカー2面、ソフトボール4面、陸上（400m）（夜間照明有）
8		指定管理	大悲観グラウンド		小佐々町 小坂	昭和55年	面積 6,698㎡ ソフトボール1面
9		指定管理	鹿町運動場		鹿町町 下歌ヶ浦	昭和53年	面積 11,830㎡ ソフトボール1面
10		指定管理	東部スポーツ広場（ラグビー・サッカー場）		浦川内町 無番地	平成６年	面積 15,532㎡ ラグビー1面、サッカー1面　天然芝、土盛スタンド
11	体育館	指定管理	体育文化館	大体育室	光月町	昭和58年	面積 1,920㎡（40m×48m） ハンドボール1面、バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン10面、卓球30台、固定席 2,058席　／　移動席 3,000席
				小体育室			面積 768㎡（24m×32m） バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン4面、移動席 800席
				コミュニティーセンターホール			固定席 600席
				駐車場			収容台数 165台
12		指定管理	総合グラウンド体育館		椎木町	昭和56年	面積 987.8㎡（34.3m×28.8m） バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球18台
13		指定管理	東部スポーツ広場(体育館)		浦川内町 無番地	平成25年	メインアリーナ面積 1,748㎡（46m×38m） ハンドボール1面、バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン10面、卓球24台、固定席 819席 サブアリーナ面積 704㎡（32m×22m） バスケットボール1面、バレーボール1面、バドミントン4面、卓球10台
14		指定管理	小佐々スポーツセンター(体育館)		小佐々町 黒石	平成8年	アリーナ面積 1,360㎡（40m×34m） バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球14台、トレーニングルーム、ランニングデッキ
15		指定管理	小佐々海洋センター体育館		小佐々町 西川内	昭和57年	アリーナ面積 726.15㎡（30.9m×23.5m） バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン3面、卓球8台、トレーニングルーム
16		直営	江迎中央体育館		江迎町長坂	昭和56年	アリーナ面積 780㎡（30m×26m） バレーボール2面、バドミントン3面、卓球5台、トレーニングルーム
17		指定管理	鹿町体育館		鹿町町 下歌ヶ浦	昭和57年	アリーナ面積 960㎡ バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球4台 トレーニングルーム
48		委託	旧戸尾小学校		戸尾町	昭和34年	グラウンド　ソフトボール1面程度
18	庭球場	指定管理	北部ふれあいスポーツ広場（テニスコート）		原分町	平成9年	砂入り人工芝コート2面
19		指定管理	総合グランドテニスコート		椎木町	昭和43年 （平成25年 全面改修）	砂入り人工芝コート 16面(夜間照明有) スタンド 2,208人収容、テニス壁打練習場（壁打面延長 42.5m）
20		直営	吉井テニスコート		吉井町吉元	昭和57年	砂入り人工芝コート6面（うち夜間照明可3面）
21		直営	世知原テニスコート		世知原町 上野原	昭和59年	砂入り人工芝コート4面
22		指定管理	小佐々中央運動広場（テニスコート）		小佐々町 西川内	平成7年	クレーコート4面（うち夜間照明可2面）
23		指定管理	大悲観テニスコート		小佐々町小坂	昭和54年	クレーコート2面
24		指定管理	鹿町テニスコート		鹿町町 下歌ヶ浦	昭和59年	クレーコート2面（夜間照明有）
49		委託	中央公園軟式テニスコート		名切町	昭和52年	クレーコート2面

No.	種別		管理形態	施設名	所在地等	竣工年	施設内容
25	野球場		指定管理	東部スポーツ広場（ソフトボール場）	浦川内町 無番地	平成6年	面積 13,615㎡ ソフトボール2面（夜間照明有）　内野黒土、外野天然芝
26			直営	吉井ソフトボール場	吉井町吉元	昭和554年	面積 6,153㎡ ソフトボール1面（夜間照明有）
27			指定管理	総合グラウンド野球場	椎木町	昭和54年	両翼 93m、中堅 120m（夜間照明（LED）、電光式スコアボード（フルカラーLED））、内野黒土、外野天然芝、メインスタンド 3,000人収容　／　内野スタンド 3,000人収容 外野スタンド 10,000人収容
28			直営	吉井野球場	吉井町吉元	昭和54年	両翼 90m、中堅 110m 内野黒土、外野天然芝
29			直営	世知原野球場	世知原町 開作	昭和57年	面積 7,410㎡ 野球1面、ソフトボール1面
30			直営	宇久町野球場	宇久町小浜	平成12年	両翼 95m、中堅 120m メインスタンド 550人収容　／　芝生スタンド 2,350人収容
31			指定管理	千鳥越野球場	鹿町町 下歌ヶ浦	昭和41年	両翼 90m、中堅 120m 内野真砂土、外野天然芝
32	陸上競技場		指定管理	総合グラウンド陸上競技場	椎木町	昭和46年 (昭和48年ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ) (平成14年南北ｽﾀﾝﾄﾞ)	トラック　400m×9レーン（第2種公認、全天候型舗装、写真判定装置有） インフィールド　天然芝、メインスタンド 1,000人収容／土盛スタンド 10,000人収容 補助走路(110m×4レーン)、投てき競技場
33			直営	宇久陸上競技場	宇久町小浜	平成13年	トラック　400m×6レーン（全天候型舗装） インフィールド　天然芝、メインスタンド 200人収容　／　芝生スタンド 2,350人収容
34	水泳場		指定管理	温水プール	平瀬町	昭和62年	屋内プール（温水） 25m×7コース（公認）
35			指定管理	総合グラウンドプール	椎木町	昭和43年 (平成9年 ｳｫｰﾀｰｽﾗｲﾀﾞｰ)	屋外プール 50m×9コース（公認）、25m×7コース、子供徒渉池ほか4池、幼児プール1池、ウォータースライダー3レーン
36			指定管理	小佐々海洋センタープール	小佐々町 西川内	昭和57年	室内プール 25m×6コース、幼児用プール
37	ゲートボール場		指定管理	北部ふれあいスポーツ広場ゲートボール場	原分町	平成9年	ゲートボール、グラウンドゴルフ
38			指定管理	総合グラウンドゲートボール場	椎木町		
39			指定管理	東部スポーツ広場ゲートボール場	浦川内町 無番地	平成6年	ゲートボール、グラウンドゴルフ
40	海洋スポーツ基地		指定管理	小佐々海洋スポーツ基地	小佐々町 西川内	昭和57年	ポンツーン、モーターボート、ペーロン舟、ＯＰヨット、12フィートヨット420級ヨット、シーカヌー、レーシングカヌー、ダブルスカル、ローボート、セーリングカッター、ウインドサーフィン
41			指定管理	鹿町海洋スポーツ基地	鹿町町 下歌ヶ浦	平成12年	海水浴場、テントサイト、自然体験館（和室・調理研修室）、カヤック
42	ナイター施設		委託	春日小学校ナイター施設	干尽町	昭和54年	サッカー、ラグビー、ソフトボール、軟式野球
43			委託	福石中学校ナイター施設	万徳町	昭和60年	サッカー、ラグビー、ソフトボール、軟式野球
44			委託	早岐中学校ナイター施設	瀬戸越3丁目	昭和60年	サッカー、ラグビー、ソフトボール
45			委託	清水中学校ナイター施設	陣の内町	昭和57年	サッカー、ラグビー、ソフトボール、軟式野球
46			直営	江迎小学校ナイター施設	江迎町中尾	昭和51年	サッカー、ソフトボール、軟式野球
47			直営	エビスが丘中央公園ナイター施設	宇久町平	令和２年	サッカー、ソフトボール、グラウンドゴルフ
50	普通財産	体育館	民間	日宇スポーツセンター	日宇町	昭和37年	バレーボール2面程度
51		体育館	民間	光海中学校旧体育館	金比良町	昭和36年	体操場
52		体育館	民間	御橋体育館	吉井町 橋川内	昭和58年	バレーボール1面程度
53		水泳場	民間	御橋プール	吉井町 橋川内	昭和61年	25m×6コース
54		体育館	民間	旧ポリテクセンター体育館	指方町	昭和62年	バレーボール1面程度、スポーツフロアシート

III. スポーツ施設再編の基本的な考え方

持続可能なスポーツ環境を整えるため、人口が減少していく将来を見据えた「**スポーツ施設のストック適正化に向けた視点**」と、新たなスポーツ需要に対応するとともに、本市の特性を活かし利用の幅が広がるよう「**施設機能の向上を図る視点**」の２つの方向性を提示します。

これにあたっては、公共施設全体の適正配置を念頭に類似機能施設等との調整も図る必要があります。

（1） スポーツ施設のストック適正化に向けた視点

1） 各施設の評価及び方針

文化スポーツ部が所管する施設について、定量的な現況評価をベースに各競技施設の利用実態や再編の考え方を踏まえ、施設の再編方針を検討します。

2） 総量コントロール

上記競技施設ごとの方針に、類似機能施設、競技者数の推移、税負担等の要素を加味し、今後アクションプランで更新順序を検討します。

（2） 施設機能の向上を図る視点

1） 拠点スポーツ施設の位置づけと戦略的視点

本計画では、立地、敷地規模、利用実態等から「**総合グラウンド**」、「**体育文化館**」、「**東部スポーツ広場**」を「**拠点スポーツ施設**」と位置付けます。

拠点スポーツ施設の再整備は、単なる老朽化対策ではありません。**時代とともに多様化する市民の「新たなスポーツニーズへの対応」を迅速に進め、「スポーツを活かした賑わいの創出・地域活性化」**を実現し、市民の QOL（生活の質）を向上させるための戦略的な投資です。

これを実現するため、本市では「**市民向け戦略**」と「**交流人口向け戦略**」を両輪とする施設マネジメントを推進します。

- **【市民向け戦略】** 日常的な市民の健康づくりや次世代育成、多様な世代が交わるコミュニティの場として施設を充実させ、市民の QOL 向上に直結させます。

- **【交流人口向け戦略】** 施設の競争力を高め、県レベル以上の公式大会やスポーツ合宿、プロ興行、イベントなどを積極的に誘致し、市外からの交流人口の増加と収益を獲得します。

拠点を「外から人を呼んで稼ぐ（アウター)」だけの施設に留めず、そこで得た合宿誘致等による「賑わいと収益」、強豪校との交流で得る「高度な指導ノウハウ」などアウター戦略で獲得した価値を、市民スポーツ（インナー）の指導者や子供達を育てる環境へ還元します。

外部の活力を地域のスポーツ環境の充実へと循環させ、持続可能かつ強固な基盤を支える心臓部とします。そこで得た収益や賑わい、高度な指導ノウハウを各地域へ還元し、市民全体の日常的なスポーツ環境（インナー）を支える「市内全体のスポーツ環境の好循環」の心臓部として機能させていきます。

2）　各拠点スポーツ施設のコンセプトと整備の方向性

以下に、各施設のコンセプト、整備の方向性、期待される効果について整理します。

【総合グラウンド】

「次世代育成と広域的スポーツ・レジャーの交流を担う拠点」

＜整備の方向性＞

広大な敷地を最大限に活用し、青少年の育成から広域的な大規模大会までをカバーする中核拠点へと進化させます。一部の低利用施設を大胆に機能転換し、天候に左右されない全天候型施設を導入することで、施設全体の稼働率と魅力を底上げします。さらに、「する」人だけでなく、「観る」人や「支える」人にとっても高い快適性を確保できる環境へと機能を高めます。

＜期待される効果＞

- **市民向け効果（市民・地域への還元）**

  天候に左右されない練習環境が確保されることで、青少年が年間を通じて安定的に練習に打ち込めるようになり、次世代の競技力向上が図られます。また、観客席の屋根設置やアメニティの向上により、家族や応援者が快適に滞在できるようになり、市民の施設滞留時間の延長や地域交流の活性化に繋がります。

- **交流人口向け効果（市外からの集客）**

  九州ブロック規模などの大規模大会や、中長期のスポーツ合宿の誘致の可能性が高まります。これに付随する事前キャンプの受け入れや、民間活力を生かした飲食等の利便施設の導入により、公園全体の集客力と「稼ぐ力」が大幅に向上し、地域経済への波及効果が期待できます。

【体育文化館】

「佐世保市民の多様性と Sports in Life を象徴する拠点」

街なかの好立地を最大限に活かし、体育文化館と隣接する新公園を「一つの空間」として一体的に活用します。施設の快適性を重視する層へのアプローチを含め、１ランク上の機能を備える施設へとバリューアップを図ります。スポーツだけでなく、文化・福祉機能の複合化を検討し、多様な目的で人が集い、交わる中心市街地の賑わい拠点を目指します。

＜期待される効果＞

●　市民向け効果（市民・地域への還元）

スポーツ以外の公共機能（子どもの遊び場や学習室など）と複合化することで、これまでスポーツ施設に足を運ばなかった市民も日常的に集まるようになり、多世代の自然な交流が生まれます。また、新公園に多目的スポーツコートなどを整備することで、手ぶらで気軽にスポーツに触れられる機会が増加し、市民の健康増進と「Sports in Life（生活の中にスポーツがある日常）」が実現します。

●　交流人口効果（市外からの集客）

市街地という好立地と大規模な収容能力を活かし、プロスポーツ興行やコンサート興行などを強力に誘致できるようになります。中心市街地に非日常的なイベント空間が生まれることで、市外からの来訪者が周辺の飲食・商業施設へ回遊し、大きな経済波及効果と都市ブランドの向上が期待できます。

【東部スポーツ広場】

「スポーツを通じて市民がつながる、地域密着型スポーツ拠点」

＜整備の方向性＞

市民スポーツ活動の中心として、屋外施設を中心に利用用途と利用可能枠を大幅に拡大します。地域大会の開催から周辺自治体との交流まで、多様なニーズに応える持続可能な施設とします。また、指定管理者が創意工夫を発揮しやすい柔軟な運営ルールを導入し、施設の賑わいと収益性を同時に高めるマネジメントを推進します。

＜期待される効果＞

- **市民向け効果（市民・地域への還元）**
  屋外施設の人工芝化やナイター照明の導入により、天候や時間帯による利用制限が解消され、市民の利用可能枠が飛躍的に拡大します。予約の取りやすさが向上することで、より多様な層が日常的にスポーツに参加しやすい環境となり、地域住民の健康づくりとコミュニティ醸成が強力に推進されます。

- **交流人口向け効果（市外からの集客）**
  クラブハウスや観客席の整備により、地区レベルの大会や周辺自治体との交流イベントが安定して開催できるようになります。また、積極的なイベント企画や、キッチンカー等の民間収益事業の展開が容易になり、施設の稼働率向上と自立的な経営への転換が期待できます。

なお、個別施設の再編方針については、後章にて説明いたします。

3） アーバンスポーツの振興と「SASEBO STREET MIX PROJECT」の推進

市民、特に若い世代における「新たなスポーツニーズへの対応」の象徴として、スケートボード、3x3、BMX、ダンスといったアーバンスポーツは、融合することでエネルギーを創出する可能性があります。

本市では、これらが持つ「まちを面白く、魅力的に変える原動力」に着目し、令和６年度より開催している「SASEBO STREET MIX」を基盤とした新プロジェクト「**SASEBO STREET MIX PROJECT**」を立上げます。

本プロジェクトでは、佐世保のストリートカルチャーを支え、持続的な発展を応援し、多くの人に伝えるために共通ロゴマークを作成します。SNS や広告、イベントフラッグなど、官民問わず様々なシーンでこのロゴを活用・展開することで、文化の視覚的な統一感を図ります。

アーバンスポーツを市として見える形で応援することで、多様な世代が交流し、ストリートカルチャーの魅力が日常的に溢れるまち「SASEBO」の実現を目指します。

【佐世保市アーバンスポーツパークの整備】

「**SASEBO STREET MIX PROJECT**」の一環として、佐世保公園にスケートボードエリアを中心としたアーバンスポーツパークを新たに整備します。既存の 3 x 3 コートやスケートボードパークと一体的に運営し、佐世保市のストリートカルチャーの拠点として、賑わい創出や関係人口の交流増加を目指します。

4） スポーツ×アクティビティ×エンタメ等との融合

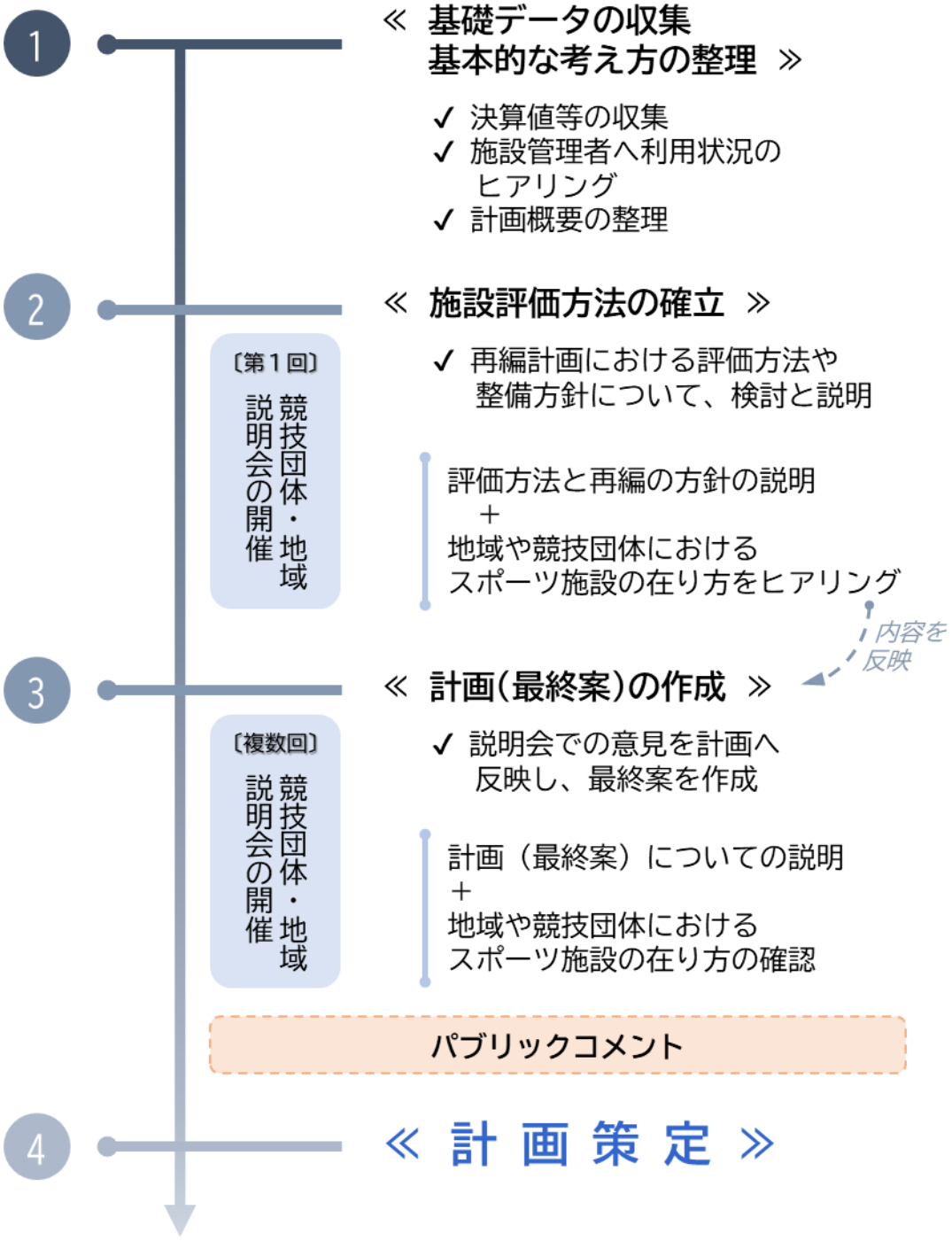
これまで競技スポーツの実施を主目的に整備してきたスポーツ施設を、アクティビティやエンターテインメント等との親和性に鑑み、これらを融合させ相乗効果が期待できるような施設についても検討を進めます。

Ⅳ. 現況評価

施設の評価や本計画の策定にあたっては、基礎データの収集から始まり、評価方法の確立、骨子案の作成、そして最終的な計画策定へと至るプロセスで進めました。

また、各段階において庁内連携や住民説明会を並行して実施することで、地域のニーズに即した実効性のある再編計画を目指しました。

【策定プロセス】



【説明会について】

各競技団体及び更新停止施設を保有する旧町で、本計画について説明会を実施いたしました。日程は以下の通りです。

説明会について	第１回	第２回
競技団体向け説明会		
佐世保市スポーツ協会加盟競技団体	R7.11.13 （15/34団体が出席）	●●●
“更新停止”と位置付けた施設を含む地域を対象に、自治協議会へ説明会を開催		
鹿町地区	R7.11.27	R8.4.27
小佐々地区	R7.12.9	R8.5.28
江迎地区	R7.12.12	R8.5.12
吉井地区	R7.12.18	R8.5.21
世知原地区	R8.1.14	R8.4.28

現況評価のあたっては、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（策定：スポーツ庁）」を参考にしながら、スポーツ施設の現況を“躯体評価”と“経済性評価と需要性評価”に分けて、以下のフローで評価しました。

なお、個別施設の最終評価は、他の要因を考慮した上で後章にて判定します。

評価内容

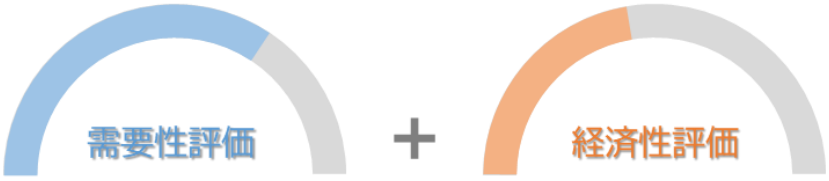
躯体評価

安全性 機能性	良	劣

躯体の評価内容を経済性評価の“将来維持補修負担”へ反映

※将来見込まれる維持補修費に差を設ける

需要性評価と経済性評価



【評価項目】

- ✓ 利用者
- ✓ 利用率
- ✓ 20年後の利用者数
- ✓ 利用料収入
- ✓ 維持管理費
- ✓ 将来維持補修負担

過去のデータをもとに“需要性評価”と“経済性評価”の2つの側面から施設を定量評価

評価方法

評価項目の数値化

各施設を“野球場”や“庭球場”など、競技施設ごとにグループ分けし、評価項目の実数を比較しやすくするために、「最大最小正規化（Min−Max Normalization）」を用い、競技施設グループ内で各施設の評価項目を０～１００点の範囲で数値化

※ １項目１００点 ⇒ 計６００点で定量評価

※ 計算例は後述

数値化以外の要素の反映

データ等には表れない要素（地域の実情や競技者の視点）については、地域や競技団体への説明会を通して把握し、評価内容へ反映

（1）躯体評価

本項目では、スポーツ施設の機能性と安全性の側面及び耐震性の有無から評価を行い、以下に、評価の定義を示します。

機能性評価：建設当時はスポーツ施設に求められていた機能を満足していたものの、道具やスポーツの変化により現在求められている要求が変化している要素及びスポーツを行う主な部位の劣化等がスポーツに与える影響の評価。

安全性評価：経年による建築物や構造物の躯体や外皮（外壁・屋上防水・屋根）の劣化状況、グラウンドや付帯施設の劣化状況が利用者若しくは第三者の安全に与える影響の評価。

耐震性評価：建築基準法の新耐震基準（1981 年 6 月 1 日以降）を満足しているかの評価。耐震性「有」それ以外は「無」と表記。

（Ⅰ）屋内施設（体育館、屋内プール）の機能性、安全性の評価及び耐震性の有無

＜機能性・安全性の評価判断基準＞

機能性・安全性の評価基準	判定
・全体的に劣化・不具合などの事象が確認されない。 ・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。） ・法定点検での是正報告がない、又は、是正事項が既に改善されている（改善予定も含む）。 ・スポーツ施設の安全対策がなされている。	良
・全体的な劣化・不具合等、若しくは著しい劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。 ・劣化・不具合等の事象により、重大な事故、施設の利用制限、又は緊急的に補修若しくは改修が必要である。 ・法定点検での是正報告があり、是正が長期間放置されている、若しくは重大な事故、施設の利用制限が想定される。 ・重大な事故の恐れがあり、安全に関する対策が実施されていない。 ・建築物の耐震性が確保されていない。	劣

※スポーツ庁：スポーツ施設のストック適正化ガイドライン参考

＜屋内スポーツ施設の評価＞

施設名称	安全性 機能性	内容	耐震性
体育文化館	劣	・アリーナ床が全面的に劣化している。 ・躯体（爆裂、クラック）が劣化している。 ・鉄骨部材の耐火被覆が剥離している。 ・内装材が劣化している。 ・各種設備（消防・避難・非常用に関わるもの）が老朽化している。	有
総合グラウンド 体育館	劣	・屋根材（鋼板）が腐食している。 ・躯体（クラック、浮き）が劣化している。 ・内装材が劣化している。 ・各種設備（消防に関わるもの）が老朽化している。	有
東部スポーツ広場 体育館	良	・躯体に軽微な劣化（クラック、浮き）が見られるが、緊急性が低い。（日常的な保守管理又は経過観察により対応）	有
小佐々スポーツ センター	劣	・外壁タイルが複数個所、下地から浮いている。 ・躯体に軽微な劣化（クラック、浮き）が見られる。 ・各種設備（避難・非常用に関わるもの）が老朽化している。	有
小佐々海洋センター 体育館	劣	・屋根材（鋼板）の腐食により雨漏りしている。 ・アリーナ床に傾斜がついている。 ・躯体（爆裂、クラック）が劣化している。 ・トレーニング室床が劣化している。	有
鹿町体育館	劣	・躯体（爆裂、クラック）が劣化している。 ・屋根鋼板腐食し、雨漏りしている。	有
江迎中央体育館	劣	・躯体（爆裂、クラック）が劣化している。 ・防水材の劣化により雨漏りしている。	有
旧戸尾小学校体育館	劣	・外壁（割れや浮き）が劣化している。 ・基礎にクラックがある。 ・犬走りに亀裂が多数ある。	無

		・耐震性がない	
日宇スポーツセンター体育館	劣	・外壁（割れ、浮き）が劣化している。 ・鉄骨柱脚が腐食している。 ・天井・内壁が劣化している。	有
光海中学校旧体育館	劣	・外壁（割れ、浮き）が劣化している。 ・天井・内壁が劣化している。 ・内部が部分的にシロアリ被害を受けている。 ・水平ブレースが緩んでいる部分がある。	有
御橋体育館	劣	・外壁（割れ、浮き）が劣化している。 ・天井・内壁が劣化している。 ・屋根鋼板が腐食している。 ・躯体（クラック）が劣化している。	有
旧ポリテクセンター体育館	劣	・外壁鋼板が腐食している。 ・基礎にクラックがある。 ・鉄骨柱脚が腐食している。 ・内壁が劣化している。 ・玄関屋根が腐食している。	有
温水プール	劣	・躯体（爆裂、クラック）が劣化している。 ・内壁（爆裂、クラック）が劣化している。 ・排煙窓が数か所破損している。 ・館内空調制御システムが故障している。	有
小佐々海洋センタープール	劣	・躯体（クラック）が劣化している。 ・鉄骨柱脚が腐食している。 ・屋根材が部分的に破損部している。 ・鉄骨躯体が腐食している。 ・漏水箇所があり、水位が低下している。	有

（Ⅱ）屋外施設の機能性、安全性の評価

＜機能性・安全性の評価判断基準＞

機能性・安全性の評価基準	判定
・競技エリア（テニスコートやグラウンド等）及び附帯設備（フェンスやナイター設備等）の劣化・不具合などが確認されない。 ・競技エリア（テニスコートやグラウンド等）及び附帯設備（フェンスやナイター設備等）部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。） ・点検による是正報告がない、又は、是正事項が既に改善されている（改善予定も含む）。	良
・競技エリア（テニスコートやグラウンド等）の劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。 ・附帯設備（フェンスやナイター設備等）の劣化・不具合などが確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。 ・点検での不具合が確認されているが、是正が長期間放置されている、若しくは重大な事故、施設の利用制限が想定される。 ・立地による近隣苦情があり、対応に必要な補修若しくは改修が必要である。	劣

※屋内施設の評価を参考にした独自の評価基準

＜屋外スポーツ施設の評価＞

施設名称	安全性 機能性	内容
総合グラウンド テニスコート	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。） ・壁打ち場の高さが低く、傾斜がないため利用しにくい等の要望が出ている。
総合グラウンド プール	劣	・プール躯体が劣化している。 ・プールサイドの全体的に劣化している。 ・循環ポンプ老朽化している。 ・管理棟の外壁・屋上が劣化している
総合グラウンド 陸上競技場	劣	・スタンド躯体の劣化（コンクリート劣化、鉄骨腐食）が見られる
総合グラウンド 運動広場	劣	・コートのフェンス等の劣化・不具合などが確認される。 ・ソフトボールやサッカー利用時にボールがフェンスを越えることがある。

総合グラウンド 　ゲートボール場	良	・コート表層及びフェンス等の劣化・不具合などが確認されない。
総合グラウンド 　野球場	劣	・躯体（コンクリート劣化、鉄筋爆裂、クラック）が劣化している。 ・グラウンドの水はけが部分的に悪いため、降雨後に水たまりができる。 ・外野フェンスを越えて、打球が近くの道路に飛び出すことがある。 ・電光掲示板の不具合が生じている。
総合グラウンド 　アーチェリー競技場	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。）
東部スポーツ広場 　ソフトボール場	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。）
東部スポーツ広場 　ラグビー・サッカー場	劣	・コート表層の全面的な不具合等の事象が確認される。
東部スポーツ広場 　ゲートボール場	良	・コート表層及びフェンス等の劣化・不具合などが確認されない。
北部ふれあいスポーツ広場 　多目的運動広場	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。）
北部ふれあいスポーツ広場 　テニスコート	劣	・コート表層のうねりや、フェンスの倒れが確認される。
北部ふれあいスポーツ広場 　ゲートボール場	良	・コート表層及びフェンス等の劣化・不具合などが確認されない。
小佐々海洋スポーツ基地	劣	・施設を支える岸壁等の劣化が進行している。 ・艇庫が全体的に劣化している。
小佐々中央運動広場	劣	・グラウンドの水はけが悪く、競技によっては不具合等の事象が確認されるが、緊急性は低い。 ・防球フェンスを越えてサッカーボールやソフトボールがグラウンド外に飛び出すことがある。
小佐々中央運動広場 　テニスコート	良	クレイコートの水はけが悪くコートのラインに支障が発生しているが、緊急性は低い。
大悲観グラウンド	劣	・コート周囲のフェンス等の全面的な劣化・不具合などが確認される。

		・県道側の防球フェンスが低くボールが飛び出すことがある。
大悲観テニスコート	劣	・コート周囲のフェンス等の全面的な劣化・不具合などが確認される。
鹿町運動場	劣	・バックネットやフェンスの劣化・不具合などが確認される。
鹿町テニスコート	劣	・コート周囲のフェンス等の全面的な劣化・不具合や基礎の露出等が確認される。
千鳥越野球場	劣	・球場内の衝撃干渉材が全体的に劣化している。 ・観覧席のひび割れ、野球場周囲の崖の崩落等の事象が確認される。
鹿町海洋スポーツ基地	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。）
吉井北部運動広場	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。）
吉井野球場	劣	・グラウンド外周フェンスの全面的な劣化・不具合等の事象が確認される。 ・球場内の砂が飛散することに伴う苦情があり、対応には補修若しくは改修が必要である ・内野グラウンドにうねり等が確認され、試合中のけがの恐れがある。 ・防球フェンスが低くボールが飛び出すことがある。
吉井ソフトボール場	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。）
吉井テニスコート	劣	・本部席庇下コンクリート爆裂や藤棚の劣化が見られる。
世知原野球場	劣	・コート表層及びフェンスの全面的な劣化・不具合等の事象が確認される。
世知原テニスコート	劣	・人工芝コート表層及びフェンスの全面的な劣、補修若しくは改修が必要である。
世知原運動広場	劣	・本部席軒裏の爆裂、ナイター支柱のコンクリート剥落が見られる
栗迎農村公園運動広場	劣	・ガードパイプのがたつきが見られ全面的に劣化している。

宇久野球場	劣	・コート表層及びフェンスの劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。
宇久陸上競技場	劣	・コート表層及びフェンスの劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。
中央公園軟式テニスコート	良	・部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応。）
御橋プール	劣	・プール躯体及びフェンス等の全面的な劣化・不具合等の事象が確認される。
春日小学校ナイター施設	劣	・コンクリート支柱に欠損部がある。
福石中学校ナイター施設	劣	・分電盤の配線カバーが劣化している。
早岐中学校ナイター施設	劣	・コンクリート支柱に欠損部がある。
清水中学校ナイター施設	良	・ライト等や支柱に不具合が確認されない。
江迎小学校ナイター施設	劣	・ライト等や照明制御盤が全体的に錆が確認される。
エビスが丘中央公園	良	・ライト等や支柱に不具合が確認されない。

（２）“経済性評価”と“需要性評価”

需要性評価では、「利用者数、利用率、20 年後の利用者数」の要素から将来どの程度の需要が見込まれるかの評価を行います。

経済性評価では、「利用料、維持管理費、将来維持補修負担」の要素から採算が取れているかどうかの評価を行います。

❑需要性評価の評価項目

利用者数	・・・	令和６年度の施設利用者数
利 用 率	・・・	１日を２または３単位「午前、午後、(夜間)」に分け、施設の利用可能面数の単位で利用率を計算。ただし、プールのように定員のない開放型の施設については、利用率は算出しない。
20 年後の利用者数	・・・	①平成 25（2013）年と令和５（2023）年の数値をもとに、年平均成長率（CAGR）にて算出 ②ただし、上限（過去１０年間のうちの最大値)、下限（過去１０年間のうちの最小値の半分）とする。

❑経済性評価の評価項目

使用料	・・・	令和６年度の施設使用料収入（照明代等の実費は除く）
維持管理費	・・・	令和５・６年度の平均額「人件費、修繕費、等」
将来維持補修負担	・・・	１次評価を参考に、将来見込まれる維持補修費に差を設ける。 良→“１”_維持改修の負担が少ない 劣→“２”_維持改修の負担が多い

これら評価項目の実数をもとに、各施設を“野球場”や“庭球場”など、競技施設ごとにグループ分けし、データを比較しやすくするために「最大最小正規化（Min－Max Normalization)」を用い、競技施設グループ内で各施設の評価項目を０～１００点の範囲で数値化を行います。

なお、この数値化では、機械的に現況評価した結果であり、これに加え、地域や競技団体等からいただいたご意見を反映させ、最終的な評価を位置づけます。

※ １項目 １００点 ⇒ 計６００点で定量評価
※ 計算例は後述

最大最小正規化の数値化計算例について

計算式：$S = \dfrac{(X - X_{\min}) \times 100}{X_{\max} - X_{\min}}$

≪ 計算例 ≫

- ➤ 競技施設グループ：グラウンド
- ➤ 評価項目：利用者

	施設名（グラウンド）	利用者（人） X	数値化 S
①	総合グラウンドアーチェリー競技場	1,816 (xmin)	0.0
②	北部ふれあいスポーツ広場	57,299 (xmax)	100.0
	総合グラウンド運動広場	27,224	45.8
	世知原運動広場	4,473	4.8
	吉井北部運動広場	4,756	5.3
	栗迎農村公園運動広場	2,240	0.8
③	小佐々中央運動広場	30,351	51.4
	大悲観グラウンド	6,573	8.6
	鹿町運動場	7,679	10.6
	東部スポーツ広場	12,061	18.5

≪ 計算結果 ≫

（数値化）

① **総合グラウンドアーチェリー競技場**
（1,816−1,816）／（57,299−1,816）× 100 ＝ **0.0**

② **北部ふれあいスポーツ広場**
（57,299−1,816）／（57,299−1,816）× 100 ＝ **100.0**

③ **小佐々中央運動広場**
（30,351−1,816）／（57,299−1,816）× 100 ＝ **51.4**

※ 維持管理費は、小さい値を100とするために、以下の数式で数値化

計算式：$S = 100 - \dfrac{(X - X_{\min}) \times 100}{X_{\max} - X_{\min}}$

≪数値化前の実数一覧≫

No	施設区分	施設名	需要性評価			経済性評価		
			利用者（人）	利用率（%）	20年後の利用者数	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
1	グラウンド	総合グラウンドアーチェリー競技場	1,498	2.4	640	232	2,336	100
2	グラウンド	北部ふれあいスポーツ広場（多目的広場）	56,504	34.8	63,361	711	12,310	100
3	グラウンド	総合グラウンド運動広場	25,999	33.2	12,724	720	6,890	0
4	グラウンド	世知原運動広場	4,159	12.1	5,212	78	3,308	0
5	グラウンド	吉井北部運動広場	4,552	10.3	2,971	76	3,539	100
6	グラウンド	栗迎農村公園運動広場	2,144	9.1	1,446	65	3,491	0
7	グラウンド	小佐々中央運動広場（多目的広場）	27,777	31.8	16,351	844	9,212	0
8	グラウンド	大悲観グラウンド	7,085	50.1	4,441	380	2,146	0
9	グラウンド	鹿町運動場	7,733	43.4	6,743	267	5,788	0
10	グラウンド	東部スポーツ広場（ラグビー・サッカー場）	13,199	22.6	5,561	675	16,025	0
11	体育館	体育文化館	155,506	81.4	140,863	17,275	50,252	0
12	体育館	総合グラウンド体育館	50,556	79.5	46,092	4,077	12,287	0
13	体育館	東部スポーツ広場(体育館)	72,563	75.4	44,921	8,538	19,779	100
14	体育館	小佐々スポーツセンター(体育館)	46,464	63.7	64,560	3,590	12,869	0
15	体育館	小佐々海洋センター体育館	12,489	56.4	16,704	1,590	8,606	0
16	体育館	江迎中央体育館	6,681	12.9	7,510	565	3,458	0
17	体育館	鹿町体育館	13,615	34.6	12,704	1,350	9,107	0
48	体育館	旧戸尾小学校	26,496	73.9	36,210	0	6,048	0
50	体育館	日宇スポーツセンター	20,054	54.0	10,493	0	1,031	0
51	体育館	光海中学校旧体育館	3,201	7.9	1,274	0	603	0
52	体育館	御橋体育館	4,268	12.2	5,329	0	520	0
54	体育館	旧ポリテクセンター体育館	12,580	32.5	9,477	0	757	0
18	庭球場	北部ふれあいスポーツ広場（テニスコート）	4,934	50.0	2,110	557	1,657	0
19	庭球場	総合グランドテニスコート	64,243	60.9	57,230	7,621	23,221	100
20	庭球場	吉井テニスコート	31,624	46.6	26,865	978	3,534	0
21	庭球場	世知原テニスコート	4,127	26.0	3,898	302	3,300	0
22	庭球場	小佐々中央運動広場（テニスコート）	4,415	34.7	5,334	144	1,735	100
23	庭球場	大悲観テニスコート	2,891	22.4	3,539	196	906	0
24	庭球場	鹿町テニスコート	1,679	9.9	1,003	74	1,851	0
49	庭球場	中央公園軟式テニスコート	630	3.9	498	0	0	100

No	施設区分	施設名	需要性評価			経済性評価		
			利用者（人）	利用率（%）	20年後の利用者数	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
25	野球場	東部スポーツ広場（ソフトボール場）	11,245	24.3	5,730	637	14,489	100
26	野球場	吉井ソフトボール場	6,541	25.6	5,601	126	3,534	100
27	野球場	総合グラウンド野球場	30,636	45.2	14,336	4,407	16,975	0
28	野球場	吉井野球場	7,248	24.5	10,315	237	4,556	0
29	野球場	世知原野球場	1,739	14.1	432	73	2,686	0
30	野球場	宇久町野球場	1,085	2.3	2,170	139	3,258	0
31	野球場	千鳥越野球場	3,151	16.3	1,868	231	5,898	0
32	陸上競技場	総合グラウンド陸上競技場	71,610	－	42,301	4,475	10,899	0
33	陸上競技場	宇久陸上競技場	528	－	83	319	4,044	0
34	水泳場	温水プール	45,261	－	40,544	16,764	44,632	0
35	水泳場	総合グラウンドプール	42,171	－	21,042	15,079	40,613	0
36	水泳場	小佐々海洋センタープール	5,233	－	1,410	748	12,088	0
53	水泳場	御橋プール	1,502	－	821	0	301	0
37	ゲートボール場	北部ふれあいスポーツ広場ゲートボール場	2,918	36.2	1,366	－	1,654	100
38	ゲートボール場	総合グラウンドゲートボール場	1,010	13.7	898	－	762	100
39	ゲートボール場	東部スポーツ広場ゲートボール場	2,703	34.8	2,950	－	2,932	100
40	海洋スポーツ基地	小佐々海洋スポーツ基地	1,815	－	1,377	503	2,949	0
41	海洋スポーツ基地	鹿町海洋スポーツ基地	4,269	－	1,105	650	6,795	100
42	ナイター施設	春日小学校ナイター施設	2,786	26.3	2,348	457	1,029	0
43	ナイター施設	福石中学校ナイター施設	4,538	29.6	5,271	519	713	0
44	ナイター施設	早岐中学校ナイター施設	10,171	53.7	9,847	905	1,812	0
45	ナイター施設	清水中学校ナイター施設	2,554	27.8	2,194	262	648	100
46	ナイター施設	江迎小学校ナイター施設	2,138	24.5	260	334	595	0
47	ナイター施設	エビスが丘中央公園ナイター施設	953	18.8	419	57	445	100

（３）個別施設の再編の方針

現況評価に利用実態等や再編の考え方を加味した「再編の方針」は以下のとおりです。

	再編の方針	整備手法の例
拠点化	拠点化の方針に応じて、現在の施設機能や場所の転換を含め、敷地全体の施設機能の再編を検討する。 目的達成のための更新・改修等を実施。	拠点化の方針に応じて施設毎に手法を選択。 ・建替 ・長寿命化改修 ・大規模改修
建替・長寿命化	施設の長期的な使用を目指し、現代のスポーツ施設に求められる機能性向上等を含めた更新・改修等を実施。	施設の状態に応じて手法を選択。 ・建替 ・長寿命化改修
維持改修	現状の施設機能を維持し、競技可能な状態を維持するために必要な更新・改修等を実施。原則、機能の向上のための改修は実施しない。	施設の状態に応じて手法を選択。 ・建替（必要規模への縮小も検討） ・機能維持に必要な部分に絞った大規模改修
更新停止	小規模な維持補修に留め、利用者の安全性が確保できる範囲で利用を継続する。	利用を行う上で必要最小限の補修に留める。 ・大規模改修は実施しない。

佐世保市公共施設適正配置・保全基本計画では、公共施設の延べ床面積を 15%以上削減することを目標としております。当該計画の削減目標に準じ、本計画においても施設区分ごとの合計延べ床面積から、定量評価結果が下位の施設の面積を足していき、合計延床面積を 15%以上縮減できるまでの施設を更新停止とします。

※ グラウンド系については競技部分の面積とします。

※ 評価一覧は施設の実績を機械的に数値化したものです。

また、ナイター設備については、施設適正配置(面積削減)の視点とは異なるため、整備方針の枠組みからは切り離して整理する。一方で、2027 年末までに蛍光灯の生産が終了し、設備の維持が困難となることが見込まれるため、LED 化に向けた検討を進めます。

(4)「普通財産」施設の更新停止

公有財産は、主に「行政財産」と「普通財産」の２つの種類があります。

行政財産	学校や公園、コミュニティセンターなど、市民生活を支えるために直接使われる施設です。これらは、生活の安心や地域のつながりを守るために欠かせない「公の施設」といえます。
普通財産	将来の売却や貸し付けなど、さまざまな活用が考えられる財産です。特定の行政サービスを行うためのものではなく、市の“資産”として柔軟に扱うことが可能です。

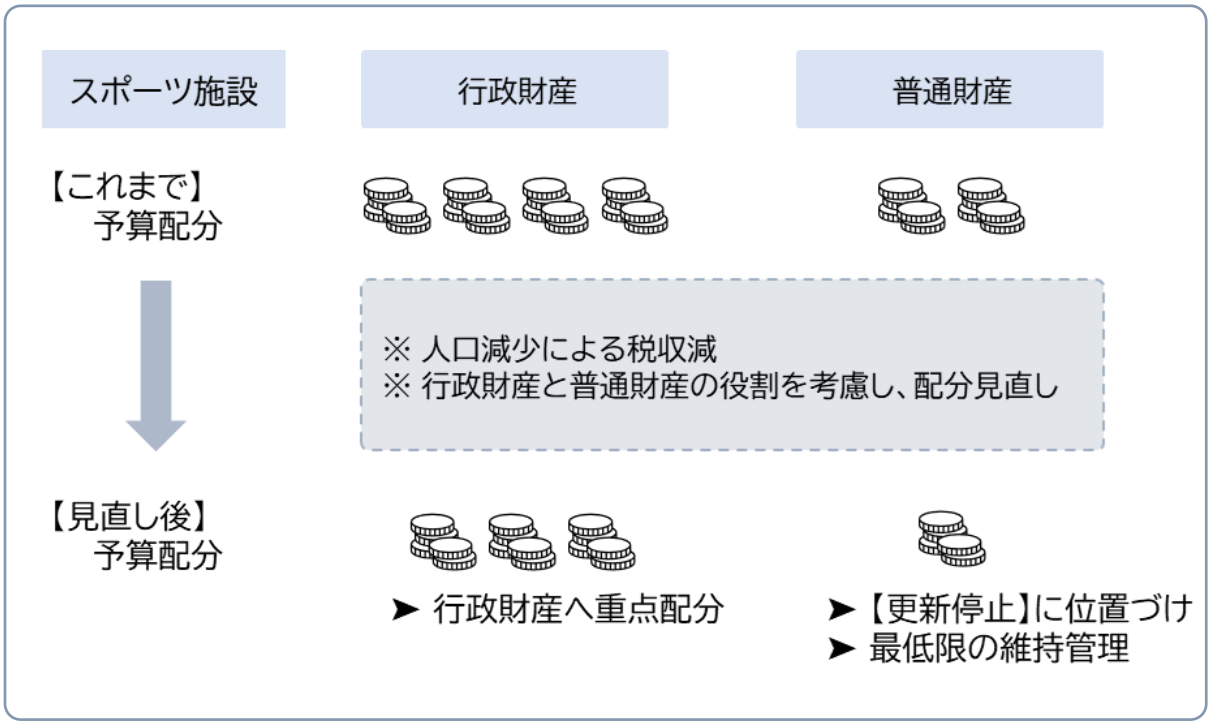
将来見込まれる人口減少による税収入や利用者需要の減少を見据えた中では、限られた予算をどのように使うかが大きな課題となります。

「普通財産」にあたる施設は「行政財産」としての役割を終えたものも少なくなく、老朽化が進んでいます。このような普通財産のスポーツ施設を「更新停止」と位置づけることで、そこで捻出できる財源を、「行政財産」の維持や更新に優先的に充てていきます。

POINT

① **行政財産としての役割を終えた普通財産のスポーツ施設を更新停止**

② **公費投入は行政財産を優先**



（5）更新停止から廃止（利用停止）の判定基準

更新停止施設については、利用者の安全性が確保できる範囲で利用を継続しますが、最終的な廃止（利用停止）に至る判断については、下表を基準とし、代替施設の有無も踏まえ総合的に検討を行うものとします。

なお、社会情勢の変化や法改正等に伴い内容を見直す場合や、施設固有の問題など、個別の判断を要する場合もあるため、下表も踏まえた判定を行い、廃止の際には地域等へ適切な説明を行うこととします。

廃止（利用停止）の判定基準	
❶ 安全確保の要因（物理的）	
構造的な欠陥の発生	屋根の崩落リスク、耐震性能の低下、コンクリート片の剥離など、「利用者の安全が担保できない」と判断された場合
部品供給の停止	主要設備の部品が生産終了しており、互換品による修理も不可能で、設備全体の更新が必要となった場合
❷ 財政負担の要因（経済的）	
工事費上限の設定	改修費用が４００万円を超える場合　※1 ‣ 金額内の修繕を保証するラインでなく、これ以上の公費投入を行わないデッドラインとして定義 ‣ 小規模な補修で利用継続が可能と判断できる場合のみ修繕を実施し、更新停止施設よりも上位の施設の更新を優先する ‣ 上限額以下であっても、施設の劣化度や建築年数などを総合的に勘案し、投資対効果が見込めない場合は金額の多寡に関わらず利用停止とする
❸ 運営維持の要因（管理運営）	
運営管理体制の維持が困難	運営団体の解散など、運営者の確保が困難となり、施設の運営管理体制が構築できなくなった場合

※1　４００万円の上限設定根拠について

学校施設環境改善交付金交付要綱　（文部科学省）
別表１　第２項　長寿命化改良事業
第６項　大規模改造（質的整備）
交付対象事業費 下限額 **４００万円** を参考

【理由】

当該要綱における国の交付制度は、「施設の将来の利用を見据えた資産価値を高める改修に対しての補助」と解釈でき、交付対象事業費下限額である 400 万円は「施設の資産価値を向上させるために必要な最低限の投資額」と捉え、本計画ではこのように解釈いたします。

一方、本計画で「更新停止」と位置付けた施設は、将来的なストック適正化を目指しており、積極的な投資による資産価値向上を図る対象ではありません。したがって、改修に 400 万円以上の費用を要する場合は、「更新停止」施設の性質上、投資の妥当性を欠くものと判断し、「廃止」を判定する基準の一つとします。

Ⅴ.　個別施設の再編方針

（１）拠点スポーツ施設の方向性

第Ⅲ章で示した「スポーツを活かした賑わいづくりと地域活性化」の実現に向け、本市における３つの拠点スポーツ施設について、それぞれのコンセプトと達成に向けた活性化策を明確にします。さらに、それらのハード・ソフト両面にわたる活性化策の効果を最大限に発揮させるための具体的な機能を示した上で、最適な再整備案を選定し、取りまとめます。

なお、拠点施設への戦略的投資にあたっては、市内全体のスポーツ施設の総量コントロール（類似・低利用施設の集約・機能転換等）を前提とし、財政負担の平準化を図りながら進めます。

（１）　総合グラウンドの再整備案

①　コンセプト

「次世代育成と広域的スポーツ・レジャーの交流を担う拠点」

②　活性化策（ハード）

■ 附帯施設を含め、練習環境を総合的に向上させ、青少年が継続的・安定的に練習、成長できる環境を整える。
■ 集客力や希少性から優先度の高い施設から先行して機能向上を図り、稼働率を上げる。
■ 「する」「観る」「支える」全ての立場にとって快適性・利便性を向上させる。
■ 新たな機能を導入し、既存施設と組み合わせた利用率向上を図る。

③　活性化策（ソフト）

■ 多様かつ希少な施設を活用した、地域住民・学校利用と広域利用、双方の獲得を目指し PR する。
■ 機運醸成の兆しが見られたら、民活施設等の導入を検討する。

④　効果実現に見込まれる機能と具体例

■ 集客力のある既存施設の機能補強など、利用機会・稼働率を高める機能
■ 球技種目の利用環境強化や学校利用等、競技力向上や次世代育成に資す

る機能

■ 「観る」「支える」人の環境整備等、滞留や交流を生む機能

■ 気候変動と通年利用への高い対応機能

● 具体例

■ **【屋内トレーニング機能】**

多機能屋内練習場やトレーニング設備

■ **【全天候型対応機能】**

観覧席や競技エリアへの屋根・日除け設備

■ **【多用途対応機能】**

多面的な活用が見込まれる多目的コート設備

■ **【観戦環境充実機能】**

大型映像装置等の観る人への対応

等

（2） 体育文化館の再整備案

① コンセプト

「佐世保市民の多様性と Sports in Life を象徴する拠点」

② 活性化策（ハード）

■ 体育文化館と新公園を一体的な空間として活用し、相互に補完し合い魅力を高める。

■ より気軽に、より多目的に活動できる施設を導入し、来訪目的を拡大させて人が集まる場をつくる。

■ 街なか立地とキャパシティを活かし興行の競争力を強化することで、イベント・興行数を増やす。

③ 活性化策（ソフト）

■ 体育文化館と新公園を一体的に使う事業を推進

■ スポーツを軸としつつスポーツに限らない、周辺との相互送客を意識した事業を企画、実施

■ 手ぶらで来てもスポーツに親しめる「気軽さ」と「手軽さ」を強化

④　効果実現に見込まれる機能と具体例

■ 立地条件を活かした機能の集約
■ 「観る」「支える」人達や滞在・交流の機能
■ スポーツイベントや興行の誘致に適した施設
■ プロスポーツ興行（SV リーグ）の誘致に適した機能
■ 新公園　中心市街地の集い・憩いの場としての機能
■ 新公園　気軽にスポーツに触れることができる機能
■ 新公園　天候や季節に左右されにくいスポーツ実施環境

●　具体例

■ **【多機能・複合化機能】**
文化・福祉（子育て支援等）等の機能との複合化
■ **【運営効率化機能】**
ロールバックチェア等設備
■ **【エリア一体化機能】**
隣接新公園の再整備と一体的な事業推進
■ **【多用途対応機能】**
多面的な活用が見込まれる多目的コート設備

等

（3）　東部スポーツ広場の再整備案

①コンセプト

「スポーツを通じて市民がつながる、地域密着型スポーツ拠点」

②活性化策（ハード）

■ 屋外施設を中心に改修し、利用用途や利用枠を広げることで、日常（市民）利用と非日常（大会）利用を共に促進する。

③活性化策（ソフト）

■ 既存および新たな施設も活用し、指定管理者発意による集客・収益事業を積極的に推進
■ 公式大会の他、東部地域および周辺自治体を含めた地域交流大会・イベントなどを企画、実施
■ 市内の高等教育機関等との官学連携拠点とし研究や実証実験、指導者育成の拠点として活用（長期的にはスポンサーなどの獲得も目指し、産官

学で連携）

④必要な機能と具体整備案

■ 対象スポーツ施設の利用可能枠を最大化できる仕様、機能
■ 大会時に求められる付帯機能
■ 主要施設の利便性を一層向上させる機能
■ 天候に左右されないための機能
■ 多機能型の施設

● 具体例

■ **【全天候型対応機能】**
人工芝化、ナイター照明設備等
■ **【利便性・快適性向上機能】**
クラブハウス、屋根付き観覧席等
■ **【多用途対応機能】**
多面的な活用が見込まれる多目的コート設備

等

（２）個別施設の再編方針

（１）グラウンド編

1　総合グラウンドアーチェリー競技場

要素	躯体評価			良		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	1,498	2.4	640	232	2,336	100
数値化（点）	0.0	0.0	0.0	21.4	98.6	100.0
小計（点）	0.0			220.1		

現況評価（合計）
拠点化
220.1

利用状況等

【利用者層】市内各地からの利用がある。社会人利用、部活動利用
【大会】九州大会（年1回程度）
【平日利用】利用者数は少ない。
【休日利用】午前・午後に集中している。夜間利用は少ない。

再編の考え方

総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

→ **再編の方針**：**拠点化**

2　北部ふれあいスポーツ広場（多目的広場）

要素	躯体評価			良		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	56,504	34.8	63,361	711	12,310	100
数値化（点）	100.0	67.9	100.0	82.9	26.8	100.0
小計（点）	267.9			209.7		

現況評価（合計）
建替・長寿命化
477.6

利用状況等

【利用者層】市内各地からの利用がある。高校生以下クラブチーム、社会人チームが多い。
【大会】県大会（年1回）高校サッカー選手権長崎県予選・サッカーやソフトボールの市内大会が多い
【平日利用】午前は空いていることが多い。午後・夜間は社会人クラブチームの利用が多い
【休日利用】サッカーやソフトボール大会が開催されている。通常利用は月に1回程度

再編の考え方

市大会レベルの利用が多く、土日に練習利用できるのは月1回程度との状況。現況評価のとおり建替・長寿命化とする。

→ **再編の方針**：**建替・長寿命化**

3　総合グラウンド運動広場

要素	躯体評価			劣		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	25,999	33.2	12,724	720	6,890	0
数値化（点）	44.5	64.5	19.3	84.2	65.8	0.0
小計（点）	128.3			150.0		

現況評価（合計）
拠点化
278.3

利用状況等

【利用者層】主に近隣のサッカーチームが利用。市外利用は少ない
【大会】ソフトボール（年15回程度）グラウンドゴルフ（年20回程度）
【平日利用】午前は空いている。夕方から主に近隣サッカーチームが練習利用。春～秋　地元ソフトボールリーグ戦が行われる。
【休日利用】大会利用がないときには個人利用がある。
【その他】陸上競技場で大会がある場合は、サブグラウンドとして利用する。コートが狭いため、大会利用より練習利用が主な利用。

再編の考え方

総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

→ **再編の方針**：**拠点化**

4　世知原運動広場

要素	躯体評価			劣		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	4,159	12.1	5,212	78	3,308	0
数値化（点）	4.8	20.2	7.3	1.7	91.6	0.0
小計（点）	32.4			93.3		

現況評価（合計）
更新停止
125.7

利用状況等

【利用者層】主に地元のシニア団体や地元行事参加者が利用
【大会】特になし
【平日利用】午前シニア団体利用（週3回）
【休日利用】行事以外は空いていることが多い。

再編の考え方

現況評価では更新停止だが、世知原地区説明会にて「地域としてひとつはスポーツ施設が必要」との意見を踏まえ、維持改修へ上方修正する。

再編の方針

維持改修

5　吉井北部運動広場

要素	躯体評価			良		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	4,552	10.3	2,971	76	3,539	100
数値化（点）	5.6	16.5	3.7	1.5	90.0	100.0
小計（点）	25.7			191.4		

現況評価（合計）
維持改修
217.2

利用状況等

【利用者層】地元利用、社会人チーム利用、小中学校サッカーチーム利用
【大会】学童軟式野球大会、社会人ソフトボール大会、サッカー大会（月1～2回程度）、グラウンドゴルフ大会
【平日利用】地元住民のグラウンドゴルフ、散歩コース・ジョギングコースとして利用
【休日利用】大会利用が月1～2回程度。個人利用

再編の考え方

現況評価のとおり維持改修とする。

再編の方針

維持改修

6　栗迎農村公園運動広場

要素	躯体評価			劣		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	2,144	9.1	1,446	65	3,491	0
数値化（点）	1.2	14.1	1.3	0.0	90.3	0.0
小計（点）	16.5			90.3		

現況評価（合計）
更新停止
106.8

利用状況等

【利用者層】市内外からの利用がある。シニア世代が多い。地元団体の利用
【大会】なし
【平日利用】利用は少ない
【休日利用】午後はシニア団体が定期利用。市内外の団体利用等

再編の考え方

現況評価のとおり更新停止とする。

再編の方針

更新停止

7　小佐々中央運動広場（多目的広場）

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	27,777	31.8	16,351	844	9,212	0
数値化（点）	47.8	61.6	25.1	100.0	49.1	0.0
小計（点）	134.5			149.1		

現況評価（合計）
建替・長寿命化
283.6

利用状況等

【利用者層】県内各地からの利用がある。近隣小中学生の部活動利用、地元利用
【大会】県大会（サッカー、野球、ソフト）（年数回）、グランドゴルフ、
【平日利用】午前は空いている。午後は、近隣中学校の部活動利用が多い。夏季は、漁協ソフトボール大会の練習利用が増える。
【休日利用】小中学生の大会でほぼ埋まっている。
【その他】サッカーコート2面分あるため参加人数が多い大会が多い。

再編の考え方

面積が広く、利用者（大会利用）も多いこともあり、現況評価のとおり建替・長寿命化とする。

再編の方針

建替・長寿命化

8　大悲観グラウンド

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	7,085	50.1	4,441	380	2,146	0
数値化（点）	10.2	100.0	6.1	40.5	100.0	0.0
小計（点）	116.2			140.5		

現況評価（合計）
維持改修
256.7

利用状況等

【利用者層】主に小佐々地区住民が利用。小学生野球クラブ利用、社会人ソフトボールクラブ利用
【大会】地区のグランドゴルフ大会（年4回程度）
【平日利用】午前は、グランドゴルフ。夕方は小学生野球クラブが利用（週3回）
【休日利用】午前はグランドゴルフ、小学生野球クラブ、午後は社会人ソフトボールクラブが利用

再編の考え方

小佐々地区説明会において、小佐々海洋センタープール（現況評価：更新停止）の学校利用を含む地域としての必要性の意見を受け、小佐々海洋センタープールの最終評価を維持改修へ上方修正する。これを受け、本施設を相対的な調整として、「更新停止」へと下方修正する。

再編の方針

更新停止

9　鹿町運動場

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	7,733	43.4	6,743	267	5,788	0
数値化（点）	11.3	86.0	9.7	25.9	73.8	0.0
小計（点）	107.0			99.7		

現況評価（合計）
維持改修
206.7

利用状況等

【利用者層】主に地元の利用、小学生軟式野球チーム利用、社会体育クラブ利用、社会人チーム利用
【大会】地区大会（年数回）
【平日利用】午前・午後グランドゴルフ、夜間ソフトボール利用
【休日利用】小学生軟式野球チーム、社会人ソフトボールチーム利用
【その他】千鳥越野球場で試合がある際の練習場として利用されている

再編の考え方

利用者、利用率は多いため、現況評価のとおり維持改修とする。

再編の方針

維持改修

10　東部スポーツ広場（ラグビー・サッカー場）

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	13,199	22.6	5,561	675	16,025	0
数値化（点）	21.3	42.2	7.9	78.4	0.0	0.0
小計（点）	71.4			78.4		

現況評価（合計）
拠点化
149.7

利用状況等

【利用者層】市内外から利用がある。
【大会】年間を通じて土日は大会で埋まっている。
【平日利用】ほとんどない
【休日利用】大会利用で埋まっている

再編の考え方

東部スポーツ広場は拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

再編の方針

拠点化

（2）体育館編

11　体育文化館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	155,506	81.4	140,863	17,275	50,252	0
数値化（点）	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
小計（点）	300.0			100.0		

現況評価（合計）
拠点化
400.0

利用状況等

【利用者層】市内外からの利用がある。社会人チーム利用、部活動利用
【大会】県大会、九州大会、全国大会
【平日利用】午前はシニア層がバドミントンや卓球で利用。夕方は中高生の部活動利用、クラブチーム利用、夜間は社会人チーム利用。
【休日利用】大会でほぼ埋まっている。

再編の考え方

体育文化館は拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

再編の方針

拠点化

12　総合グラウンド体育館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	50,556	79.5	46,092	4,077	12,287	0
数値化（点）	31.1	97.5	32.1	23.6	76.3	0.0
小計（点）	160.7			99.9		

現況評価（合計）
拠点化
260.7

利用状況等

【利用者層】市内学生部活動利用が多い。市外利用はほぼない
【大会】県大会予選、九州大会予選
【平日利用】午前は空いていることが多く、高齢者の定期利用がある。夕方からは近隣学校部活動利用やクラブチーム利用で埋まっている。
【休日利用】大会等専用利用でほぼ埋まっている。
【その他】観覧席がないため、県大会・九州大会は行われない

再編の考え方

総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

再編の方針

拠点化

13　東部スポーツ広場(体育館)

要素	躯体評価		良			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数(人)	利用率(%)	20年後の利用者数(人)	使用料(千円)	維持管理費(千円)	将来維持補修負担
実数	72,563	75.4	44,921	8,538	19,779	100
数値化(点)	45.5	91.9	31.3	49.4	61.3	100.0
小計(点)	168.7			210.7		

現況評価(合計)
拠点化
379.4

利用状況等
【利用者層】市内外からの利用がある。 【大会】大会は多い 【平日利用】夕方までの利用は少ないがそれ以降はほぼ埋まっている 【休日利用】大会で埋まっている。 【その他】大会などの規模が縮小しサブアリーナが空くことがある

再編の考え方	再編の方針
東部スポーツ広場は拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。	**拠点化**

14　小佐々スポーツセンター(体育館)

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数(人)	利用率(%)	20年後の利用者数(人)	使用料(千円)	維持管理費(千円)	将来維持補修負担
実数	46,464	63.7	64,560	3,590	12,869	0
数値化(点)	28.4	75.9	45.3	20.8	75.2	0.0
小計(点)	149.7			96.0		

現況評価(合計)
建替・長寿命化
245.6

利用状況等
【利用者層】学生利用が多い。部活動利用や社会人クラブチーム利用、市外利用もある。 【大会】県大会(年10回程度)九州大会(年2回程度) 【平日利用】午前中は空いていることが多い。午後からは部活動や社会人クラブチームで埋まる 【休日利用】大会でほぼ埋まっている。通常利用は年数回程度

再編の考え方	再編の方針
年間を通して土日祝はほとんど大会が開催されており、利用者、利用率も多いため、現況評価通り建替・長寿命化とする。	**建替・長寿命化**

15　小佐々海洋センター体育館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数(人)	利用率(%)	20年後の利用者数(人)	使用料(千円)	維持管理費(千円)	将来維持補修負担
実数	12,489	56.4	16,704	1,590	8,606	0
数値化(点)	6.1	66.0	11.1	9.2	83.7	0.0
小計(点)	83.2			92.9		

現況評価(合計)
維持改修
176.1

利用状況等
【利用者層】市内各地からの利用がある。部活動利用、社会人利用 【大会】公式戦はない。 【平日利用】午前は高齢者利用が多い。午後からは部活動利用、社会人利用が多い 【休日利用】団体や個人の練習利用

再編の考え方	再編の方針
現況評価では、維持改修だが、「普通財産施設の更新停止」の方針に基づき、他施設の下方修正により、評価内容が繰り上がる。	**建替・長寿命化**

16 江迎中央体育館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	6,681	12.9	7,510	565	3,458	0
数値化（点）	2.3	6.8	4.5	3.3	94.1	0.0
小計（点）	13.6			97.4		

現況評価（合計）
更新停止
110.9

利用状況等

【利用者層】地元より市内各地からの利用が多い。小中学生クラブチーム利用、社会人チーム利用
【大会】小規模大会（年10回程度）
【平日利用】日中は空いている。夜間は社会人チーム、個人利用で埋まっている。金曜日は体育教室の定期利用
【休日利用】部活やクラブチームの練習試合利用が多い。

再編の考え方

現況評価では、更新停止だが、「普通財産施設の更新停止」の方針に基づき、他施設の下方修正により、評価内容が繰り上がる。加えて、江迎地区説明会において「屋内集会できる場が少なく、当施設かインフィニタスのいずれかは、存続が必要」との意見も踏まえ、維持改修とする。

再編の方針

維持改修

17 鹿町体育館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	13,615	34.6	12,704	1,350	9,107	0
数値化（点）	6.8	36.3	8.2	7.8	82.7	0.0
小計（点）	51.3			90.5		

現況評価（合計）
更新停止
141.9

利用状況等

【利用者層】市内各地から利用があるが主に地元利用。社会体育クラブ利用、社会人チーム利用。近隣体育館が取れない人の利用も多い。
【大会】地区大会（年数回）
【平日利用】午前中は高齢者の団体利用（バドミントン・卓球）が多い。午後からは卓球、夜間は社会体育小学生チームが8割を占める。トレーニングルームは1日中利用がある
【休日利用】大会やイベント利用は少ない。部活動やチームの練習利用が多い

再編の考え方

現況評価では、更新停止だが、「普通財産施設の更新停止」の方針に基づき、他施設の下方修正により、評価内容が繰り上り、維持改修とする。

再編の方針

維持改修

48 旧戸尾小学校

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	26,496	73.9	36,210	0	6,048	100
数値化（点）	15.3	89.8	25.0	0.0	88.9	0.0
小計（点）	130.1			88.9		

現況評価（合計）
建替・長寿命化
219.0

利用状況等

【利用者層】多世代にわたる。近隣利用者が多い
【大会】幼稚園の運動会
【平日利用】年間を通じて利用が多い
【休日利用】年間を通じて利用が多い
【その他】総合型地域スポーツクラブウィルドゥが管理運営を行っている。

再編の考え方

現況評価では、建替・長寿命化であるが、当該地は暫定利用であることから更新停止とする。なお、当該地の行政目的が明確になった場合は、改めて現施設機能との調整を行う。

再編の方針

更新停止

50 日宇スポーツセンター

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	20,054	54.0	10,493	0	1,031	0
数値化（点）	11.1	62.8	6.6	0.0	99.0	0.0
小計(点)	80.4			99.0		

現況評価(合計)
維持改修
179.4

利用状況等
【利用者層】多世代にわたる。近隣利用者が多い 【大会】なし 【平日利用】年間を通じて利用が多い 【休日利用】年間を通じて利用が多い 【その他】総合型地域スポーツクラブレゾナンスクラブが運営している。

再編の考え方	再編の方針
現況評価では、維持改修であり、一定の利用者や利用率が見込めるものの、経過措置的に活用している普通財産であることや、「普通財産施設の更新停止」の方針に基づき、更新停止とする。	**更新停止**

51 光海中学校旧体育館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	3,201	7.9	1,274	0	603	100
数値化（点）	0.0	0.0	0.0	0.0	99.8	0.0
小計(点)	0.0			99.8		

現況評価(合計)
更新停止
99.8

利用状況等
【利用者層】体操競技者と体操教室利用者 【大会】中大会など 【平日利用】体操競技者の利用に限られる 【休日利用】体操競技者や体操教室での利用 【その他】佐世保市体操協会が管理運営を行っている。

再編の考え方	再編の方針
経過措置的に活用している体操利用に特化した普通財産であり、「普通財産施設の更新停止」の方針に基づき、現況評価のとおり更新停止とする。	**更新停止**

52 御橋体育館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	4,268	12.2	5,329	0	520	0
数値化（点）	0.7	5.8	2.9	0.0	100.0	0.0
小計(点)	9.4			100.0		

現況評価(合計)
更新停止
109.4

利用状況等
【利用者層】地域住民の利用が多く、スポーツクラブの利用もある 【大会】なし 【平日利用】地域住民や社会人チーム等の利用 【休日利用】特になし 【その他】地域で運営を行っている。

再編の考え方	再編の方針
経過措置的に活用している普通財産であり、「普通財産施設の更新停止」の方針に基づき、現況評価のとおり更新停止とする。	**更新停止**

54 旧ポリテクセンター体育館

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	12,580	32.5	9,477	0	757	100
数値化（点）	6.2	33.5	5.9	0.0	99.5	0.0
小計（点）	45.5			99.5		

現況評価（合計）
維持改修
145.1

利用状況等

【利用者層】地域住民のみならず、多世代の利用がある。
【大会】なし
【平日利用】地域住民や社会人チーム、小中学生クラブチームなどの練習利用
【休日利用】平日の利用と同じ

再編の考え方

現況評価は維持改修だが、「普通財産施設の更新停止」の方針に基づき、更新停止とする。

再編の方針

更新停止

（3）庭球場編

18 北部ふれあいスポーツ広場（テニスコート）

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	4,934	50.0	2,110	557	1,657	0
数値化（点）	6.8	81.0	2.8	7.3	92.9	0.0
小計（点）	90.6			100.2		

現況評価（合計）
維持改修
190.7

利用状況等

【利用者層】市内各地から利用がある。近隣中学校部活動利用や社会人クラブチームの利用が多い。
【大会】なし
【平日利用】午前・午後は空いていることが多い
【休日利用】部活動利用や社会人チーム利用でほぼ埋まっている

再編の考え方

ほとんどが練習利用であるもの、利用率は高い。現況評価のとおり維持改修とする。

再編の方針

維持改修

19 総合グランドテニスコート

要素	躯体評価		良			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	64,243	60.9	57,230	7,621	23,221	100
数値化（点）	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0
小計（点）	300.0			200.0		

現況評価（合計）
拠点化
500.0

利用状況等

【利用者層】市内外から利用がある。
【大会】全国大会（数年に1回）九州大会（年2回程度）県大会（年6回程度）
【平日利用】午前・午後は少なく、夜間は大半が埋まっている。
【休日利用】主に大会利用。大会利用がない場合は一般利用で埋まっている。

再編の考え方

総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

再編の方針

拠点化

20 吉井テニスコート

要素	躯体評価			劣		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	31,624	46.6	26,865	978	3,534	0
数値化（点）	48.7	74.9	46.5	12.8	84.8	0.0
小計(点)	170.1			97.6		

現況評価(合計)
建替・長寿命化
267.7

利用状況等
【利用者層】市内各地から利用がある。小中学生クラブチーム、中学校・高校の部活動、社会人チームなど 【大会】県民体育大会予選、長崎県高等学校新人体育大会等 【平日利用】一定の利用がある。 【休日利用】大会利用がない場合は一般利用で埋まることが多い。

再編の考え方	再編の方針
大会もあり、一定以上の利用者数、利用率があるため、現況評価のとおり建替・長寿命化とする。	**建替・長寿命化**

21 世知原テニスコート

要素	躯体評価			劣		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	4,127	26.0	3,898	302	3,300	0
数値化（点）	5.5	38.7	6.0	4.0	85.8	0.0
小計(点)	50.2			89.8		

現況評価(合計)
更新停止
140.0

利用状況等
【利用者層】市内外からの利用がある。 【大会】なし 【平日利用】地元や市内利用者が練習利用している。 【休日利用】市内チームの定期利用や、市内外団体が大会前練習利用がある。

再編の考え方	再編の方針
現況評価のとおり更新停止とする。	**更新停止**

22 小佐々中央運動広場(テニスコート)

要素	躯体評価			良		
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	4,415	34.7	5,334	144	1,735	100
数値化（点）	6.0	54.1	8.5	1.9	92.5	100.0
小計(点)	68.6			194.4		

現況評価(合計)
建替・長寿命化
263.0

利用状況等
【利用者層】市内各地から利用があり、小佐々中学校の部活動での利用も多い。 【大会】なし 【平日利用】日中は小佐々中学校が部活動利用し、夜間は近隣学生が練習利用する。 【休日利用】小佐々中学校の利用に加え、市内各地から学生利用がある。

再編の考え方	再編の方針
部活動での利用も多く、一定の利用者数、利用率があるため現況評価のとおり建替・長寿命化とする。	**建替・長寿命化**

23 大悲観テニスコート

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	2,891	22.4	3,539	196	906	0
数値化（点）	3.6	32.4	5.4	2.6	96.1	0.0
小計(点)	41.3			98.7		

現況評価(合計)
更新停止
140.0

利用状況等

【利用者層】小佐々地区住民が中心の利用。50代～70代利用が多い。
【大会】なし
【平日利用】午前は空いていることが多い。午後は月・火・木に高齢者の定期利用あり
【休日利用】練習利用がある

再編の考え方

現況評価のとおり更新停止とする。

再編の方針

更新停止

24 鹿町テニスコート

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	1,679	9.9	1,003	74	1,851	0
数値化（点）	1.7	10.5	0.9	1.0	92.0	0.0
小計(点)	13.1			93.0		

現況評価(合計)
更新停止
106.1

利用状況等

【利用者層】地元利用が主である。小学生から高校生までの利用が多く、社会体育クラブの利用、部活動利用が多い。
【大会】なし
【平日利用】午前・午後は少ない。夕方～夜間は社会体育小中学生チーム練習の利用がある。
【休日利用】個人や団体利用での利用がある。

再編の考え方

現況評価のとおり更新停止とする。

再編の方針

更新停止

49 中央公園軟式テニスコート

要素	躯体評価		良			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	630	3.9	498	0	0	100
数値化（点）	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
小計(点)	0.0			200.0		

現況評価(合計)
維持改修
200.0

利用状況等

【利用者層】社会人チームと地域チームなどの利用のみ
【大会】なし
【平日利用】社会人チームや地域チームの練習利用
【休日利用】平日利用と同じ
【その他】佐世保市ソフトテニス協会が運営している

再編の考え方

利用団体が管理しているためコストはかからない。現況評価のとおり維持改修とする。

再編の方針

維持改修

（4）野球場編

25　東部スポーツ広場（ソフトボール場）

要素	躯体評価	良				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	11,245	24.3	5,730	637	14,489	100
数値化（点）	34.4	51.2	38.1	13.0	17.4	100.0
小計（点）	123.7			130.4		

現況評価（合計）
拠点化
254.1

利用状況等

【利用者層】市内外から利用がある。
【大会】12月～2月を除き大会開催があり、グランドゴルフ大会も開かれる。
【平日利用】地元軟式チームの利用、夜間は社会人チーム利用、グランドゴルフの利用がある。
【休日利用】12月～2月を除き大会開催される。
【その他】ドローン講習での利用が増

再編の考え方

東部スポーツ広場は拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

→ **再編の方針**：**拠点化**

26　吉井ソフトボール場

要素	躯体評価	良				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	6,541	25.6	5,601	126	3,534	100
数値化（点）	18.5	54.4	37.2	1.2	94.1	100.0
小計（点）	110.0			195.3		

現況評価（合計）
建替・長寿命化
305.3

利用状況等

【利用者層】小学生クラブチーム利用、社会人チーム利用、小学生の社会体育活動
【大会】学童の軟式野球大会（年10回）等
【平日利用】夕方　地元小学生クラブチーム（週3回）、夜間社会人チーム、ジュニアチームがナイター利用（年数回）
【休日利用】毎週ではないが、学生の練習利用が中心。野球場で大会がある時の練習場としての利用もある。

再編の考え方

現況評価では建替・長寿命化であるが、野球競技における利用実態としては、隣接する吉井野球場を主会場、当該ソフトボール場を練習会場として、一体的に運用する場合が多く、この利用形態に鑑み、維持改修とする。

→ **再編の方針**：**維持改修**

27　総合グラウンド野球場

要素	躯体評価	劣				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	30,636	45.2	14,336	4,407	16,975	0
数値化（点）	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
小計（点）	300.0			100.0		

現況評価（合計）
拠点化
400.0

利用状況等

【利用者層】市内外から利用がある
【大会】県大会（年12回程度）、九州大会（年1回程度）
【平日利用】午前中は空いている。夕方～夜間は市内の野球チームの練習、試合利用あり
【休日利用】常に大会やイベント利用通常利用は年に2～3回程度

再編の考え方

総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

→ **再編の方針**：**拠点化**

28 吉井野球場

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	7,248	24.5	10,315	237	4,556	0
数値化（点）	20.9	51.7	71.1	3.8	86.9	0.0
小計(点)	143.6			90.7		

現況評価(合計)
建替・長寿命化
234.3

利用状況等
【利用者層】市内利用が主、部活動、社会人チーム 【大会】社会人・学生全国大会予選（年4回程度）、社会人・学生県大会予選（年3回程度）、佐世保市中体連等 【平日利用】春休み期間、夏休み期間部活動利用 【休日利用】大会利用でほぼ埋まっている。空いているときは練習試合利用

再編の考え方	再編の方針
野球競技における利用実態としては、当該野球場を主会場として、隣接するソフトボール場は練習場会場として、一体的に運用する場合が多く、現況評価のとおり、建替・長寿命化とする。	**建替・長寿命化**

29 世知原野球場

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	1,739	14.1	432	73	2,686	0
数値化（点）	2.2	27.6	0.0	0.0	100.0	0.0
小計(点)	29.8			100.0		

現況評価(合計)
維持改修
129.8

利用状況等
【利用者層】主に市内若年層が利用 【大会】無し 【平日利用】少ない 【休日利用】若年層チームの練習利用

再編の考え方	再編の方針
現況評価では維持改修であるが、世知原地区説明会にて「地域としてひとつはスポーツ施設が必要」との意見を踏まえ、世知原運動広場を維持改修へ上方修正する。これを受け、本施設を相対的な調整として、更新停止へと下方修正する。	**更新停止**

30 宇久町野球場

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	1,085	2.3	2,170	139	3,258	0
数値化（点）	0.0	0.0	12.5	1.5	96.0	0.0
小計(点)	12.5			97.5		

現況評価(合計)
更新停止
110.0

利用状況等
【利用者層】なし 【大会】なし 【イベント】なし 【平日利用】なし 【休日利用】なし 【その他】なし

再編の考え方	再編の方針
現況評価のとおり更新停止とする。	**更新停止**

31　千鳥越野球場

要素	躯体評価	劣				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	3,151	16.3	1,868	231	5,898	0
数値化（点）	7.0	32.7	10.3	3.7	77.5	0.0
小計(点)	50.0			81.2		

現況評価(合計)
維持改修
131.2

利用状況等

【利用者層】市内各地から利用がある。社会人チーム利用・社会体育利用が多い。近隣施設で予約がとれない人の利用がある。
【大会】軟式野球連盟主催大会（3月～11月）
【平日利用】部活動利用（月数回程度）
【休日利用】軟式野球連盟大会以外はクラブチームの練習

再編の考え方

現況評価のとおり維持改修とする。

➡

再編の方針

維持改修

（5）陸上競技場編

32　総合グラウンド陸上競技場

要素	躯体評価	劣				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	71,610	-	42,301	4,475	10,899	0
数値化（点）	100.0	-	100.0	100.0	0.0	0.0
小計(点)	200.0			100.0		

現況評価(合計)
拠点化
300.0

利用状況等

【利用者層】中学生・高校生の部活動利用が多く、市内外から利用ある。
【大会】陸上・サッカー（年1回程度）県大会、市内各大会、記録会、九州大会の開催がある。
【平日利用】午前は空いていることが多い。夕方からは部活動利用、夜間は一般利用が多い。
【休日利用】常に大会などが入っているわけではないが、大会がない場合も個人利用が多い。

再編の考え方

総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

➡

再編の方針

拠点化

33　宇久陸上競技場

要素	躯体評価	劣				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	528	-	83	319	4,044	0
数値化（点）	0.0	-	0.0	0.0	100.0	0.0
小計(点)	0.0			100.0		

現況評価(合計)
更新停止
100.0

利用状況等

【利用者層】自衛隊・消防隊・地元住民
【大会】なし
【平日利用】なし
【休日利用】なし
【その他】自衛隊・消防隊の訓練（年2～3回）

再編の考え方

スポーツ利用はほぼなく、将来需要も見込めないため、現況評価のとおり更新停止とする。

➡

再編の方針

更新停止

（6）水泳場編

34　温水プール

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	45,261	-	40,544	16,764	44,632	0
数値化（点）	100.0	-	100.0	100.0	0.0	0.0
小計（点）	200.0			100.0		

現況評価（合計）
建替・長寿命化
300.0

利用状況等

【利用者層】。市内各地から利用がある。市外利用は少ない。スクール利用あり。
【大会】市民体育祭（年1回）、県大会（年5回程度）、マスターズ（九州大会）（年2回程度）、スイミングクラブ大会（年1回）など
【平日利用】午前中は高齢者利用が多い。夕方からはスクール利用で混み合う。

再編の考え方

平日昼間利用や利用者の多い施設であり、現況評価のとおり、建替・長寿命化とする。

→ **再編の方針**：**建替・長寿命化**

35　総合グラウンドプール

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	42,171	-	21,042	15,079	40,613	0
数値化（点）	92.9	-	50.9	90.0	9.1	0.0
小計（点）	143.9			99.0		

現況評価（合計）
拠点化
242.9

利用状況等

【利用者層】市内利用が多い。市外からの利用もある。
【大会】県大会（年1回）県北地区大会（年2回）市大会（年1回）
【平日利用】夏休み期間以外の平日利用は少ない。学校授業や幼稚園利用もある。
【休日利用】多数の利用がある。

再編の考え方

総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。

→ **再編の方針**：**拠点化**

36　小佐々海洋センタープール

要素	躯体評価		劣			
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	5,233	-	1,410	748	12,088	0
数値化（点）	8.5	-	1.5	4.5	73.4	0.0
小計（点）	10.0			77.9		

現況評価（合計）
更新停止
87.9

利用状況等

【利用者層】近隣学校の利用、幼稚園の利用。スクール利用
【大会】なし
【平日利用】学校の授業、幼稚園の園外活動での利用が多い。午前中と夜間は高齢者・社会人利用が増える。夏休み期間は家族利用が増える。
【休日利用】市内各地から利用。家族や学生利用が多い。

再編の考え方

現況評価では、更新停止であるが、小佐々地区説明会において、小佐々海洋センタープールの学校利用を含む地域としての必要性の意見を受け、最終評価を維持改修とする。

→ **再編の方針**：**維持改修**

53　御橋プール

要素	躯体評価	劣				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	1,502	-	821	0	301	0
数値化（点）	0.0	-	0.0	0.0	100.0	0.0
小計(点)	0.0			100.0		

現況評価(合計)
更新停止
100.0

利用状況等
【利用者層】地域のこどもたち 【大会】なし 【平日利用】夏休み期間中のみ開放している 【休日利用】同上 【その他】地域で運営を行っている。

再編の考え方	再編の方針
「普通財産施設の更新停止」の方針や、経過措置的に活用している施設でもあることから、現況評価のとおり更新停止とする。	**更新停止**

（7）ゲートボール場編

37　北部ふれあいスポーツ広場(ゲートボール場)

要素	躯体評価	良				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	2,918	36.2	1,366	-	1,654	100
数値化（点）	100.0	100.0	22.8	-	58.9	100.0
小計(点)	222.8			158.9		

現況評価(合計)
維持改修
381.7

利用状況等
【利用者層】高齢者2チームの特定利用 【大会】なし 【平日利用】午前1チーム、午後1チーム 【休日利用】年間を通じて空いている

再編の考え方	再編の方針
整備当初と状況が変わっていることもあり、ニーズ調査を踏まえ、機能転換等も検討する。	**維持改修**

38　総合グラウンドゲートボール場

要素	躯体評価	良				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数(人)	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	1,010	13.7	898	-	762	100
数値化（点）	0.0	0.0	0.0	-	100.0	100.0
小計(点)	0.0			200.0		

現況評価(合計)
拠点化
200.0

利用状況等
【利用者層】団体(4名)の特定利用 【大会】スポーツマンス時と団体主催の大会(年1～2回程度) 【平日利用】頻度が高く、2時間程度利用 【休日利用】年に1～2回の大会時のみ

再編の考え方	再編の方針
総合グラウンドは拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。	**拠点化**

39　東部スポーツ広場（ゲートボール場）

要素	躯体評価	良				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	2,703	34.8	2,950	-	2,932	100
数値化（点）	88.8	93.6	100.0	-	0.0	100.0
小計（点）	282.3			100.0		

現況評価（合計）
拠点化
382.3

利用状況等
【利用者層】高齢者3団体の特定利用 【大会】小規模大会（年1～2回程度） 【平日利用】1団体10～15回程度使用。午前午後で3団体で利用 【休日利用】特になし。

再編の考え方	再編の方針
東部スポーツ広場は拠点化の方針のため、敷地全体について施設機能や場所の転換も含め再検討する。	**拠点化**

（8）海洋スポーツ基地編

40　小佐々海洋スポーツ基地

要素	躯体評価	劣				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	1,815	-	1,377	503	2,949	0
数値化（点）	0.0	-	100.0	0.0	100.0	0.0
小計（点）	100.0			100.0		

現況評価（合計）
更新停止
200.0

利用状況等
【利用者層】市内各地から利用がある。 【大会】なし 【平日利用】繁忙期（6月～9月）小中学校団体利用・子供会利用・家族利用が多い。繁忙期以外は少ない 【休日利用】天候が良いときは、一般利用やイベントを開催

再編の考え方	再編の方針
現況評価のとおり更新停止とする。なお、その機能については、鹿町海洋スポーツ基地との統合の可否を含め検討する。	**更新停止**

41　鹿町海洋スポーツ基地

要素	躯体評価	良				
	需要性評価			経済性評価		
項目	利用者数（人）	利用率（%）	20年後の利用者数（人）	使用料（千円）	維持管理費（千円）	将来維持補修負担
実数	4,269	-	1,105	650	6,795	100
数値化（点）	100.0	-	0.0	100.0	0.0	100.0
小計（点）	100.0			200.0		

現況評価（合計）
建替・長寿命化
300.0

利用状況等
【利用者層】市内外からの利用がある。 【大会】なし 【平日利用】一般利用者の平日利用は少ない。小中学校のカヌー体験授業や、一般講習会、地元小中学校水産教室の稚魚放流や座学が行われている。 海水浴場開設期間中は、夏休みと重なり平日でも利用客で賑わってい

再編の考え方	再編の方針
現況評価のとおり建替・長寿命化とする。なお、小佐々海洋スポーツ基地との機能統合の可否を検討する。	**建替・長寿命化**